



〈本郷キャンパス〉
学校法人文京学院
文京学院大学 外国語学部 経営学部
人間学部 保健医療技術学部
ヒューマン・データサイエンス学部(2026年
4月開設) / 大学院
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1
☎大 03-3814-1661
文京学院大学文京幼稚園
〒113-0023 東京都文京区向丘2-4-1
☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉
文京学院大学人間学部 保健医療技術学部
／大学院 / 文京学院大学ふじみ野幼稚園
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806

〈駒込キャンパス〉
文京学院大学女子高等学校
文京学院大学女子中学校
〒113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3
☎03-3946-5301

NEW YEAR MESSAGES 2026

新年のごあいさつ



学院長・理事長
島田 昌和

A I と正しく向き合う

昨秋に『富士山と、コーヒーと、しあわせの数式』が劇場公開され、多くの方々にご覧いただき、たくさんの共感のお言葉を頂戴しました。創立101年目に大きな足跡を残す事ができました。さて、身近な所でAIの存在があたり前になってきています。間違った使い方をせず、依存し過ぎる事なく、活用していきたいものです。同時にAIという過去の膨大なデータの活用では不可能な、「独自性」や「意外性」を生み出す力を磨いていきたいものです。



学長
福井 勉

2026年は新たなスタート

大学では、新しいヒューマン・データサイエンス学部のスタート、100分授業の開始となり、さらに登録日本語教員養成・登録実践研修機関の認可を受け、新たな教育が開始されます。さらに各学部の改革も進める必要がある一方、新しい勤務体制・履修証明プログラムなども一斉に始まることになります。これら大きな改革がスムーズに開始されるためには、周到的な準備が必要になりますが、皆で力を合わせて心を込めて前進してまいりたいと思います。



高等学校 校長
清水 直樹

4つのシンカ

探究活動で養う思考力と発信力、グローバル教育で身につける英語力と多様性をさらに「深化」させていく。AIを有効に活用するためのICTスキルとリテラシーをさらに「新化」させていく。100年にわたり大切にしてきた仁愛の心をこれからも永く紡いでさらに「伸化」させていく。そして、性別を超えた一人の人間としての成長を目標に、これからも女子校としてひたすらに「進化」していく。本年も私たちは立ち止まることなく、生徒と共に一步一步進んでまいります。



中学校 校長
島田 美紀

“校訓「誠実・勤勉・仁愛」”と共に、
飛躍の年へ

2026年は文京学院の原点に戻り、校訓「誠実・勤勉・仁愛」を生徒のみなさんと一緒に実践していきたいと思います。「誠実」に学習と向き合い、「勤勉」に毎日学びましょう。それは、皆さんが、わくわくどきどきする職業を、将来選択できる確かな力となります。また、一人ひとりが「仁愛」の心を忘れないようにしましょう。互いを尊重しながら高め合うことは、互いを支え、成長に繋がります。この一年、共に飛躍の年にしましょう。



文京幼稚園
園長
益田 薫子

“TOKYO子育て応援幼稚園※”
としてさらなる充実を

文京幼稚園が立地している文京区は、子育て世代に共働き家庭が多い地域ですが、私たちは質の高い保育と共に、預かり保育をさらに充実させ、働く両親も通いやすい園を目指します。豊かな遊びの中に多くの学びが得られるよう工夫すること、また保育の中でグローバルを意識し、やがて子どもたちが視野を広げ国際人として成長していけることを願い、教職員全員で新しい年も頑張ってまいります。
※本園は「両親共に働く家庭を応援している幼稚園」として東京都から認定されました。



ふじみ野幼稚園
園長
柄田 毅

子どもの発見と探求を育てていく

ふじみ野幼稚園の子どもたちは、園生活における気づきや驚きを自分らしく表現したり、仲間と共有すること等から学び、成長しています。こうした子どものあそびをさらに推し進めて、自然から科学し、自分の表現を得て、創造性を発揮し、探究による学びと経験からグローバルな資質を高めるように取り組みます。令和8年度から満3歳児保育を開始して、これまで以上に地域の子どもたちが集い、成長し合う幼稚園となる一年にしたいと思います。



高校生徒会
会長
島山 礼佳
(2年 楓組)

「笑顔あふれる一年に」

新年あけましておめでとうございます。昨年は、生徒会活動などたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。行事の準備や話し合いを通して私たち生徒会も大きく成長できました。今年も皆さんの学校生活がより楽しく充実したものになるよう、昨年の経験を活かして生徒会全員で頑張ります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



中学生徒会
会長
外山 晴美
(3年 菊組)

「前進できる1年に」

新年あけましておめでとうございます。昨年は、行事や日々の活動の中で、皆さん一人ひとりが力を合わせて、学校生活をより楽しく充実したものにしていました。文芸祭や体育祭では、皆さんの笑顔と協力が輝き、学校全体を盛り上げてくれました。心から感謝しています。今年も、校訓「誠実」「勤勉」「仁愛」を大切に、一人ひとりが自分の目標に向かって前向きに取り組める一年にしていきたいと思います。生徒会も皆さんと一緒に、笑顔あふれる学校をつくっていききたいです。



本郷キャンパス
学生自治会本部 会長
小林 竜大
(経営学部3年)

「新たな歩みに寄り添う」

新年あけましておめでとうございます。平素より学生自治会の活動に温かなご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。昨年は多くの方々との関わりの中で視野が広がり、学生自治会としても大きな学びと成長の一年となりました。本年は学生生活にそっと寄り添いながら、より深い価値を生む企画を丁寧に形にまいります。変化を楽しみ、前向きに挑戦する自治会であり続けますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



ふじみ野キャンパス
学生会本部 会長
有泉 大地
(人間学部心理学科3年)

「大学を第二の居場所に」

新年あけましておめでとうございます。日頃より学生会の活動にご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。昨年は新入生のイベントへの参加、そして新たなサークルの新設などによって学内がより一層にぎやかに、活発になりました。本年はさらなる新入生への学内活動への勧誘、イベントによる活性化に努めてまいります。学生一同が大学を家に続く「第二の居場所」と思えるよう学生会は励んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

大学 「キャリアてっぺんフォーラム」開催

本学の卒業生や就活を終え内定を得た4年生が、後輩たちに働く意味や内定獲得に向けた実体験を伝える「キャリアてっぺんフォーラム」が各キャンパスで開催され、就活体験談の講演やパネルディスカッションなどが行われました。



渡辺さん

ふじみ野キャンパス(2025年11月19日)

キャリアてっぺんフォーラム学生実行委員長
渡辺クリスティ(人間学部児童発達学科3年)

「4年間で学んできた専門的な知識を使うことがなくても、在学中に経験したことは、就職先で応用できているというお話が印象に残っています。今回、先輩方という身近な存在に就職活動に対するリアルな話を伺えたため、自己啓発に繋がりました」

〈発表者〉※「」内は発表タイトル

東日本三菱自動車販売株式会社 田口裕花 氏(2024年3月人間学部児童発達学科卒業)
「一般企業に就活して社会人になった私の今」

福西電機株式会社 掛川尚紀 氏(2025年3月人間学部人間福祉学科卒業)「国家試験合格と一般企業就職の両立」
株式会社セレクトリックス 檜和田航希 氏(2024年3月人間学部心理学科卒業)「学科の学びを自己分析に活かし」客観視」
株式会社セキ薬品 阿部ひなた 氏(2023年3月人間学部心理学科卒業)「調剤事務のやりがいと今後の目標」



川上さん

本郷キャンパス(2025年12月3日)

キャリアてっぺんフォーラム学生実行委員長
川上千杜聖(外国語学部2年)

「本年度は”挑戦のその先へ～経験が未来を創る～”というスローガンのもと、内定を獲得された4年生と社会人の先輩方にご登壇いただきました。例年とは異なり、実際に働いている先輩方のお話も聞くことができ、将来のキャリアについてよりイメージしやすくなったと感じます。今後も、委員一同、学生の就職活動支援に貢献していきたいです」

〈発表者〉学生敬称略※「」内は発表タイトル

リョーサン菱洋ホールディングス株式会社 春原 響(外国語学部)「納得のいく就職活動にむけて」
警視庁 椎名美月(経営学部)「人の役に立ちたい」を形にするまで」

《卒業生はパネルディスカッションで登壇いただきました》
株式会社JTB(旅行・観光) 木村日南 氏(2025年3月 外国語学部卒業)
アクシス株式会社(人材) 清宮和也 氏(2013年3月 経営学部卒業)

中学 「クリスマスコンサート」開催

2025年12月13日、駒込キャンパス・ジャシーホールにて、今年で5回目となる「中学クリスマスコンサート」が開催されました。

この行事は中学生のみが対象のため、高校生からは「高校でもやりたい!」「寂しい!」といった声がよく聞かれます。高校では芸術科目が美術・書道との選択となることから、多くの生徒にとって音楽教育の最終学年は中学3年生となります。そのため、このクリスマスコンサートでは中学3年生が主役です。

1・2年生は教員が提示した曲の中から選曲しますが、3年生は白紙の状態からクラス全員で選曲や構成を考えていきます。まだ暑さの残る9月、週に1時間しかない貴重な音楽の授業時間を使い、どのようなステージにしたいかアイデアを練り上げていきました。その際、どのクラスからも多く聞かれたのが「みんなが楽しめるかどうか」という言葉です。来校される保護者の皆さまをはじめ、後輩、先生方まで全員に楽しんでもらいたい、心の中で一緒に歌ってほしい——そんな思いが込められています。

演奏すること、聴くこと、同じ空間で音楽を共有する喜びを知っている中学3年生だからこそ生まれる発想だと感じます。今年も、3年生が目標とした、笑顔があふれる温かな行事となりました。



大学 学生の手で岩手県の地域活性化プロジェクトを実施 — 釜石／盛岡

2025年11月22日・23日、岩手県釜石市で開催された「海と希望の学園祭 in kamaishi」に、経営学学生16名が出展しました。

4回目の出展となる今回は、約8,000個のペットボトルキャップを使った大型リサイクルアート「みんなでつくる飛び出す絵本」を制作・展示。さらに来場者も参加できる体験型ワークショップ「魚のいきものかんむりづくり」も実施。子どもから大人まで環境問題を考えながら、創造することの楽しさを体感する場となりました。

また、本学学生による被災地支援ボランティア団体「プレーメンズ」が、オリジナルグッズのチャリティ販売を実施。売上全額を釜石市の地域に還元する予定です。

また、岩手県盛岡市が推進する「文京区学生と創るアグリノベーション事業」に参加してから今年度で二年目を迎え、地域課題解決に向けた取り組みも進められています。経営学部の長期フィールドワーク授業「コンテンツMD」の盛岡班に所属する学生たちが、盛岡市の豊かな森林資源に着目。その魅力を再認識させ、地域ブランド化につなげることを目的とした調査・研究を昨年度より進めてきました。

そして、2025年12月6日・7日、「道の駅もりおか渋民」で学生が盛岡市産の胡桃や葡萄の木の皮など未活用資源を使って制作したアート作品をテスト販売。当日は、かごバッグやリース、ランプや、道の駅ロゴをモチーフにしたオブジェなどが並び、来場者から高い関心が寄せられました。さらに、今回の活動の一環として「Waのまちもりおかリース展2025」に展示された学生たちのリース作品「学生がつなぐ、盛岡と東京の絆リース」が、

来場者投票により全43作品の中から『準グランプリ』を受賞。盛岡市の「深沢紅子 野の花美術館」で開催された「リース大賞2025受賞作品選抜展」にも展示されました。この活動は岩手日報など数々のメディアで取り上げられています。



「道の駅もりおか渋民」での展示・販売に参加した学生



『準グランプリ』を受賞したリース

中高 美術部「東京都私立中学高等学校 生徒写真・美術展」に美術部員の作品が展示されました

「第53回東京都私立中学高等学校 生徒写真・美術展」において、本校の美術部員8名の作品が『入選』し、2025年11月19日～24日の期間、東京都美術館に展示されました。

この展覧会は、東京都内の私立中学・高校の生徒たちが授業や部活動で制作した作品を一堂に集める歴史ある催しで、入選は大きな励みとなります。今回展示された作品は、部員たちが日頃の活動で培った表現力と創造性が光るものばかりでした。

美術部では、従来の技法に加え、デジタル作品や新しい素材を取り入れた制作にも挑戦しています。これからも幅広い表現に取り組み、個性豊かな作品づくりを続けていきます。

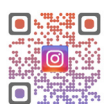
▼撮影協力いただいた美術部の皆さんと入選作品



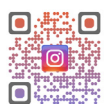
特集 注目のトピックス

Topic 01

12月6・13日 両幼稚園で年末恒例の「もちつき」を実施



◀文京幼稚園



ふじみ野幼稚園▶

@文京幼稚園(12/6)
@ふじみ野幼稚園(12/13)



幼稚園

Topic 02

12月13・14日

@ふじみ野キャンパス



令和7年度「子ども大学ふじみ野」
“そっとながしこむ夢とコンクリート”
～型枠づくりから学ぶわたしたちのまち～
をテーマに開催

(東入間青年会議所・ふじみ野市との連携企画)



大学